

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	清須市清洲勤労福祉会館指定管理者選定審議会 (第4回)
開催日時	平成22年11月12日(金) 午後2時00分～午後3時25分
開催場所	新川体育館 1階 大会議室
議題	1. 委員長あいさつ 2. プロポーザル審査 3. 採点表集計及び報告書の確認
会議資料	・ 次第 ・ 採点表 ・ 報告書(案)
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	非公開(指定管理者申請団体の個人情報を含むプロポーザルによる審議のため)
傍聴人の数 (公開した場合)	なし(非公開のため)
出席委員	鈴木委員、小川委員、平松委員、太田委員、泉委員
欠席委員	和田委員、鷺見総務部長
出席者(市)	永田副市長、内田教育長、柴田企画部長、浅野教育部長
事務局	(教育委員会事務局教育部スポーツ課) 岩花課長、加藤主幹、前田副主幹、石黒主査
会議の経過	1. 委員長あいさつ 永田委員長あいさつ  — 事務局より本会議の流れを説明後、ハマダスポーツ企画・ドルフィン株式会社共同事業体プロポーザルに入る —  2. プロポーザル審査 《プロポーザルの概要》 ハマダスポーツ企画株式会社・ドルフィン株式会社共同事業体

14:10～14:30

(追加資料あり)

— 20分間プレゼンテーション —

《質疑》

○委員長　それでは委員の皆さん、質問がございましたらよろしくお願いいたします。

○委員　昨年度までよくやっていたという事は分かっているんですが、新たに今の説明を聞いていると、マンネリに陥らないように留意して活性化に向けていろいろな豊かな試みを考えてみえます。これは大変素晴らしいことですが、事業を増やすばかりでは経営的に成り立っていくのかということを見ると、今回お願いするならば、特にどんなことに力を入れていくかお聞きしたいし、もう一つは負の部分、いわゆるこれから多種多様な利用者が増えれば増えるほどトラブルが多くなります。そういうトラブルにどういうふうに対応されるか。特に安心安全という観点でいえば昨年1年間に事故発生はどのくらいあって、それをどういうふうに対処されたか教えていただきたいです。今後古くなってくると修繕修理が必要ということで計画していかなければなりません。昨年度中の主な修理修繕はどんなものがあって、特に近い将来に今後どんなことが修理修繕で予想されるのか、そこを掴んでみえたら教えていただきたいです。

●ハマダスポーツ企画株式会社・ドルフィン株式会社共同事業体（以下①）

4つのポイントをいただいたかと私思っております。1点めが事業の追加ばかりで本当に大丈夫なのかというお話だと思います。2点めが利用者が多様化していきだろろうという中でどのような対応をしていくのか、また今までの安心安全の観点から事故発生の状況と対応の仕方についての話、最後にアルコの改修改善に関するこれまでの実績の部分とこれからここをやったらどうかという予定はあるかというお話だと思います。

1点めの事業の追加でございますが、委員のおっしゃるとおり、なんでもかんでもやればよいという訳ではございません。当然今の現状でやっている事業の枝の別れ方という意味で増やしていきたいと思っております。また当然今までも8年間やってきている中で事業が続かなかったという教室もあります。そういった意味でこれからもやはりお客様のニーズとのかげちがいが出てくるということもございますの

で、減らしていきながら、また追加をしていきながらといったふうに思っております。また全ての試みがアルコ清洲では始めて行われる訳なんですけれども、そういった意味で他の我々の管理施設で既にチャレンジしたりノウハウを持っているもののある程度形になったパッケージのものを入れていこうと思っているので、改めてゼロ出発ではなくて、実績のあるものを入れていくということであまり運営費自体に圧迫が出ないようにする形で実施できればと思っております。

2点めの利用者の多様化についてですが、小さい子どもさんから高齢者の方まで本当に多くの方々がアルコを利用していただいているのですが、そういった意味で我々がどういった対応をしていくかということですが、これは勉強していくしかないことと思っております。サービスに対する考え方ですとか、年齢に応じた接し方も当然のことながらどういった年齢構成の方々はどういったトラブルが起こり得るのかといったところも学んでいかないとだめだと思います。救命救急講習は当然正社員及びパートの職員全てにやらせております。また、正社員に関しては適宜種々の研修資格の取得をさせており、パートの方にも希望の方には会社より補助をして資格をとっていただいておりますので、具体的なお話ではちょっとないのですが、あくまでも学習していくということになってしまうと思います。

事故の発生でございますが、特に夏、本当に多くのお客様に駐車場も満ぱんで苦情が出るぐらい並んでご利用いただいております。そういった中では事故・トラブルはこれは包み隠さずお話いたしますが、起こります。けがをする人も毎日のように出てきます。そういった意味で大きな事故というのは切り傷で病院に行くですとか、打撲して行くだとかということが毎年数件発生しております。ですが幸い命に関わるような事故は発生していないという状況です。今期は皆さんもご存知のとおり波のプールがございまして、やはり小さいお子様ですと足が届くか届かないかというところで、結構溺れやすい場所ではあります。そこで溺れかけたという事例はあります。監視員の判断で回避できたといった内容がございましたが、救急車を呼んでだとかそういったことには至らなかったということがございます。今現状ですと大きな事故は幸い起こっていないということですが、ただ、起こっても対応できるように保険等の加入はすべて行っておりますので、ご安心いただければと思います。

最後4点めのアルコの現状の修繕改修の実績なんですけれども、大きなものは先ほど出ておりましたけれどもガーデンという外のプール

の部分が全てきれいに改修をかけてしまいました。プールの中のペンキ装も塗り替えました。今後行っていくところとしましては、4階の弓道場ですけれども、人工芝が経年劣化のためぼろぼろになってしまっていて風化したものが雨が降った際に排水溝につまってしまうということが過去にもありましたので、それを全て除いて産業廃棄で処理をした後、新しい人工芝を備えつけています。全面をやるということが予算的なこともありまして、設置できなかつたものですから、今後来年度以降改修を行っていこうと考えておりますし、カーテンの全更新ということで、体育館のカーテンですが、アルコは全部自動のブラインドになっております。ボールなんかモールに当たりますと、ちぎれてしまっていて稼動しなくなってしまう。そういった事例がよくありまして、自動は自動で使い勝手はいいのですけれども、今後の事も考えて運用しやすく、一部ずつですが毎年更新をしています。まだ一部体育館に残っているところがございますので、改修のポイントとして取り組んでいきたいと考えております。直接的にお客様に提供できるものとして、トレーニングルームのマシンの追加更新の部分というのは直接的だと思います。今お話したカーテンですとか人工芝ですとかは施設管理上見栄え的なところなので、お客様には間接的な部分もございまして、直接的なところでいいますと、ロビーの壁紙ですとか、そういったところの更新を考えていきたいなと思っております。以上です。

○委員長 　他の委員さんご質問はございませんか。

○委員 　配置職員の中には電気工事士さんは入っていますか。キュービクルはずいぶん前に設置しているようですが、緊急対応の場合は1時間以内に来られるのかどうか、その辺の対応はどうなっているかお伺いします。

●① 　技術者に関してはもちろん1時間以内に来られる範囲に常時おりますし、常駐のサポートデスクでも常駐しているスタッフもおりますので、30分ぐらいで駆けつけられる状況にはなっております。

○委員 　現在実際にアルコにみえる職員の数は何人ぐらいですか。

●① 　夏場、閑散期、繁忙期、平日、休日の違いはございますけれども、基本的には我々正社員4名つけております。あとはパートの職員が受付から掃除から何から全部含めますと閑散期であっても30名、35名ぐらいおりますし、繁忙期の夏ですと60名ぐらいで臨んでおります。監視員も頭数で25名ほどおります。

○委員 　ありがとうございました。

○委員長 他にございませんか。

○委員 4ページの多目的の3番の和室の利用ということで、この和室の利用者が少ないだろうなと思います。この部屋の存在を知らない人が多いのではないかなと思います。それはPR不足ではないかなと思います。実際に私も何回か行ってみますと、なかなか3階4階まで上がっていくという方がおらんとは思います。大体は水泳と多目的の利用ぐらいで、上へはあがっていかないようです。今後はこういったものがある場所がある訳ですから、それをもっと利用していただくためにPRをしていかななくてはいけないんじゃないかなと思います。そのPRの仕方についてどのようにお考えかお教えいただきたいです。

●① 今お話のようにPR不足というのは否めないと思います。場所を使った事業展開をかけていくということと、囲碁将棋等をやりたいという団体さんを誘致していくということだと思っています。PRの部分としましては今期からホームページでブログという施設の方からすぐにダイレクトに皆さんに情報を発信するようひとつの道具を今年から運用を開始しました。なるべくタイムリーにお客さんに情報を提供できるPRの能力を上げていこうと考えています。そこで広告宣伝費の予算をつけるようにしました。チラシをうつかもしれないし、広報誌か何かに入れるかもしれないし、そういったことで対応できる費用を積んでPRについてはやっっていこうと考えております。新しい場所を使っての事業の取り組みについては、乳幼児向けの教室や事業というものを和室を使っていきたいです。これは他の施設で既に実践してパッケージができたものがだいぶありますので、それを使わせていただくことで新たな投資を最小限に抑えて実施することができると考えています。使える団体の誘致につきましては一度支配人と相談させていただいて是非囲碁将棋等に使っていただければと思っております。

○委員長 他にございませんか。

○委員 少しまとめてお聞きしたいのですが、先ほど事故のお話があったんですけれども、ここの中で職員のマニュアルを作るとか記載があるんですが、訓練は実際にはどういことをやるのかということと、職員には必須の資格があると聞いたんですが、必須の資格というのは先ほどお話があった救急救命だとか、水泳の何級だとかそういうものを指すのか、具体的にはどういったものがあるのですかということ。それから収支予算をみせていただいたんですが、その中でプール事業企画の23年度と24年度は確かに増えているんですけれども、それ以降変わっていないんですけれど23・24でやって終わりという

ことなのか、今新しいことをやりながらいろんなことをやるといわれていたのですがそれなら金額に変動があると思いますし、変動がないということは23・24で終わる事業があると解釈してよいのかということです。収入の中で自主事業スイミングを含むという部分とグッズとかいう物販があるんですけど、これが例えば自主事業の受講料でいきますと23・24・25で変わって後は同じと。これはもう見込みないという理由でこういう数字なのか、何かいろいろなことをやろうという考えはないのですか。グッズにつきましても23年度はやるけど24年度以降はやらないとか、金額が変わらないということは新しいことは何も考えないということなのか。それと委託料全体の中で25年、26、27と増額になっているんですけども、本社管理費が増えるから増額になるのか、いったいどうして増額になってくるのかなというところなんです。それから、事業費ですね、本社管理費が26・27と増えているものですからこれによる増額なのか、本社管理費は今言った改装とかそういったものの積み立てということなのか、本社に対して何らかのもの払わないといけないものがあるのか事業費が23・24で変わってっているものがそれ以降変わらないというのが、何か事業がこの2年間だけで終わるのかということです。以上でございます。

●①

まず事故対応の訓練状況と必須資格の部分ですけども、心肺蘇生法、CPRですとか、AEDの講習、特に繁忙期はもちろんですがその前にもAEDの講習については全ての職員に受けさせています。トレーニングルームに関しましては、健康運動指導者と実践指導者といった資格がございます。プールに関しましては衛生管理者、水泳指導の管理の資格をとっているという現状でございます。必須といいますとCPR・AEDの講習をしているというということです。

プール事業に関して23・24年度で終わりなのかというご質問でしたが決してそういったことではございません。継続的に続けてまいります。それに伴う事業収入が26年度27年度にはないぞというお話がありました。あまり皮算用で数字をどんだん増やしていくっていうのは我々も5年先のことまで全て読みきれていない部分もあるものですから、ある程度事業の手ごたえ、先ほどのパッケージなどを入れてですね、ある程度収入が見込める範ちゅうに関する数字反映をさせていただきますけれども、それ以上どんだん積み増ししていくと失っていくものも当然出てくる訳ですので、その辺は数字的には大きな変動を見せていないというのがご回答でございます。

本社の管理費の問題でございますが、先ほど委員にもおっしゃっていただいたとおり改装に充てる費用というのを考えていまして、改装費と書きますと修繕費と位置づけがごちゃごちゃになってしまうものですから、そういった意味で本社管理費というのを載せさせていただいているのが回答でございます。実際どんどんお金がかかっていきますので、増額になっているということでございます。

○委員 それを含んでいるので委託料も増額になっているということで先ほどの質問はよろしいでしょうか。

●① はい。

○委員 そうすると先ほど質問のあった施設の改修とかやらなきゃいけないという部分はここのお金の中で対応を考えていくということですね。大きなものは契約があるので別として例があがっていたものについてはそういったお金の中で対応していくということですね。

●① はい。

○委員長 他の委員さんよろしいですか。

○委員 教育的な事業も考えてみえるということですが、例えば学校や教育委員会からいろいろな依頼をしている訳ですけども、そういうことには関わりをもつようなことは何かありますか。例えば、利用者からはすべてお金をとるとかそういうことは考えてみえますか。新しいのは地域総合型スポーツクラブの設立というのがでてきています。実際どのようなことを考えてみえますか。わかっているればお答えください。

●① 行政の教育関係との連携ですが、今現状ですとないのですが、我々なりに考えた企画の中に学校との連携ですとか、教育機関との連携ですとかということは今後は是非煮詰めてやっていきたいという気持ちはあります。次に地域総合型スポーツクラブについてですが、こちらに関しましては他の施設ですと、事務所スペースの貸出しですとか、不在時の電話対応等々の協力というのは実績がいくつかあります。事業、教室をやられる際の講師派遣とか雑多業務、状況整備ですとかも協力はさせていただきますので、スポーツクラブさんの趣旨にもより今後詰めていく必要はあると思います。協力はさせていただきます。

○委員長 他によろしいでしょうか。

○委員 利用者のニーズについてアンケート等により情報収集をしているかどうかということ伺いたいです。

●① ご意見箱のようなものを設置しているかどうかということによろしいでしょうか。

○委員 はい。

●① はい。設置しています。教室の受講者や会員さんであれば直接ヒアリングしながら利用者ニーズをつかんでいくということもしています。

○委員長 他の委員さんよろしいでしょうか。

○委員全員 はい。

○委員長 では、委員さんからご質問いただきましたので、もし指定管理者として選定された際は、今のご意見を参考にしてやっていただきたいと思います。先ほど委員さんからお話がありましたトラブルの件なんです。水を扱う施設なのでトラブルがないというのはあり得ない訳で、事故等もあるかと思えます。マニュアルはきちんとあるようですけども、それをきちっとしていただくということで、何かあれば市の責任も問われますし、企業さんのほうも信用がなくなってしまうので、そこは強くお願いしたいと思えます。

それでは、これでプロポーザルを終了いたします。お疲れ様でした。

●① ありがとうございます。

— 5分間休憩 —

○委員長 それでは再開したいと思います。採点表の方へ記入をお願いします。

— 各々採点 —

○委員長 よろしいでしょうか。採点表を回収します。

— 委員より採点表を回収し、別室にて事務局集計 —

#### 【採点表集計中】

報告書について

報告書（案）に基づき事務局より説明

全委員了承

#### 【採点表集計終了後】

○委員長 ただいまお手元に審査結果表をお配りしました。合計が580点ということで、総合評価として相応しいか相応しくないかにつきましては、全員の方が相応しいと判断されました。この結果によりまして清洲勤労福祉会館にハマダスポーツ企画株式会社とドルフィン株式会社

の共同事業体を指定管理者として選定してよろしいでしょうか。

○委員全員 異議なし。

○委員長 それでは、全会一致がとれたということで指定管理者の候補として決定をするということにさせていただきます。

それではこの審議会につきましては8月から長きにわたりましてご審議いただきましてありがとうございました。

●事務局 皆さんにお配りしました会社の資料、審査結果は回収させていただきますので机上に置いておいてください。よろしくお願ひします。

閉会

会 議 の 結 果	会議の経過に示したとおり
問 い 合 わ せ 先	教育部 スポーツ課 052-409-1535 (新川体育館)